

創立者生誕記念講座【第429回望星講座】

松前重義と日本武道館

～1964年から2020年へ 武道のこころとかたち～

1964年のオリンピック東京大会の開催を契機として日本武道館が建設されました。代議士であった松前重義は1962年1月に設立された財団法人日本武道館の副会長として建設に尽力し、盟友の建築家・山田守の設計案が採用され、「九段下の玉ねぎ」と愛称された八角形の建物が完成しました。

2年後の2020年、再び東京でオリンピック・パラリンピック競技大会が開かれます。日本武道館は柔道と空手の会場です。大会準備が進む中で、望星講座では、武道を愛し武道を通して平和を追求した松前重義の理念と、美しく雄大な武道の殿堂を建設した山田守の設計理念、建築的価値を浮き彫りにします。

<10月は創立者生誕記念講座として、松前重義に関わるテーマで講座を開催しています>

2018年10月27日(土)

14:00～15:30

会場:望星学塾 教職員・学生・生徒は受講料無料

講師

『日本武道館』の建築的価値について

大宮司 勝弘

東京家政学院大学 現代生活学部 現代家政学科 助教

東海大学工学部建築学科卒業、同大学大学院理工学研究科修了。(有)大宮司建築設計事務所、東海大学第二工学部建設工学科研修員、東京家政学院大学家政学部住居学科助手を経て現職。2005年より山田守の研究を開始し、学術論文や講演、TV番組などで発表。専門領域は、建築設計、建築意匠、近代建築史。一級建築士。



「国際友情の大道を築こう」

橋本 敏明

学校法人東海大学望星学塾副塾長、学園史資料センター長
体育学部武道学科教授

1972年、東海大学文学部文明学科卒業、1976年の松前柔道塾開塾、1982年望星学塾の再開などで社会教育活動に関わる。1979年から1987年の期間、国際柔道連盟会長を務めた松前重義博士の下で国際活動に携わった。



【お申込・お問合せ】学校法人東海大学望星学塾 〒180-0013 東京都武蔵野市西久保1-17-1

TEL: 0422-51-0161 FAX: 0422-53-1025 E-mail: bosei@tokai.ac.jp

【後援】武蔵野市教育委員会、NPO法人柔道教育ソリダリティー

東海大学建築会、東海大学同窓会三多摩支部

HPはこちら